

仕 様 書

1 件名

2022年度学習センター支援室の業務補助に係る労働者派遣業務

2 契約期間

2022年4月1日～2023年3月31日

3 派遣人数

- | | |
|-----------|----|
| (1) 学生支援係 | 1名 |
| (2) 面接授業係 | 2名 |
| 合計 | 3名 |

4 勤務日・勤務時間等

(1) 勤務日

月曜日から金曜日までの週5日

- ・国民の祝日に関する法律（以下、「祝日法」という。）に定める休日及び年末年始（12月29日～1月3日）を除く

(2) 勤務時間

9:00～17:45（実働7時間45分）

(3) 休憩時間

12:00～13:00（1時間）

(4) 時間外勤務

所定時間外労働を命じる場合あり

ただし、平日（土曜日、日曜日、祝日法に定める休日、年末年始（12月29日～1月3日）以外）の労働時間が1日7時間45分を超えた場合は、労働基準法第32条第2項に定める労働時間である1日8時間までは割増しなしの単価とし、8時間を越えた超過勤務時間は単価を25%割増す。

なお、時間外勤務が生じる場合には、派遣元事業者における時間外労働・休日労働に関する協定書の延長可能時間数を限度とする。

5 勤務場所

放送大学学園本部 西管理棟1階 学習センター支援室
（千葉県千葉市美浜区若葉2-11）

6 指揮命令者

放送大学学園

学習センター支援室 学生支援係長

〃 面接授業係長

7 業務内容

(1) 学生支援係

- ・ 高等教育修学支援新制度における給付奨学金及び授業料減免制度に関する業務
- ・ 日本学生支援機構貸与奨学金に関する業務
- ・ 教育訓練給付制度における事務補助

(2) 面接授業係

- ・ 面接授業返金に関する業務
- ・ 面接授業成績に関する業務
- ・ 面接授業講師支払いに関する業務
- ・ 面接授業実施に係るその他事務補助

8 派遣元事業者の要件

- (1) 競争参加資格を満たし、かつ派遣労働者の選定要件を満たす人材の派遣が可能であること。そのための十分な登録者数を有すること。
- (2) 派遣する人材は、信用に足る人物であること
- (3) 労働者派遣法に基づき、派遣元事業者の講ずべき措置として派遣労働者の労働条件の向上や教育訓練の機会の確保その他雇用の安定を図るための必要な措置、福利厚生等の管理が適切に行われていること。
- (4) 厚生労働省による優良派遣事業者認定制度の派遣事業者としての資質を担保する認定を受けていること。
- (5) 契約期間途中で派遣労働者が交代する場合、代替者を直ちに手配できること。
- (6) トラブルへの対応や苦情処理体制が十分に整備されていること。
- (7) 全ての契約手続き、請求手続きに不備のないこと。

9 派遣労働者の選定

(1) 派遣労働者の要件

派遣労働者の選定に際しては、以下の要件をすべて満たすこと

- ・ 基本的なパソコン操作ができる者で、かつ表計算ソフト (Microsoft Excel)、ワープロソフト (Microsoft Word) 及びメールソフトを活用して事務処理ができる者
- ・ さらに Microsoft Excel については、VLOOKUP 関数などの関数を使用してデータの集計ができること。
- ・ 標準的な書類整理等業務経験を有する者
- ・ 1～2年以上の職歴を有する者
- ・ 意欲的に、周囲と協調して業務を遂行できる者

(2) 代替人員の確保

派遣労働者が病気などのやむを得ない理由により業務に従事できない場合は、本学園の求めに応じて派遣元事業者が責任を持って代替人員の確保を図ること。

(3) 派遣労働者の交代

派遣労働者が交代する場合は、その旨を事前に本学園に通知するとともに、後任の派

遣労働者に対して十分な引継ぎを行い、以後の業務に支障がないよう必要な措置を講ずること。なお、この場合の経費は派遣元事業者の負担とする。

(4) 派遣労働者の解除

派遣労働者に次の事項に該当する行為があったときは、本学園は交代を要請し、または当該労働者の契約を解除できるものとする。なお、この場合、本学園は損害賠償の責めを負わないものとする。

- ①不正な行為があったとき。
- ②正当な理由なく派遣労働者の業務が著しく遅延し、又は派遣労働者が業務に着手せず本学園の業務に支障があるとき。
- ③正当な理由なく本学園の指示に従わないとき。
- ④派遣労働者の業務に対する状況が著しく誠意を欠くと認められるとき。

10 派遣元事業者における教育

派遣労働者が本学園の指揮命令に忠実に従い、職務の規律、秩序及び施設管理上の諸規則等を遵守するよう、教育・指導等適切な措置を講じること。

11 守秘義務の遵守及び情報セキュリティに係る研修等の受講

(1) 守秘義務の遵守

派遣労働者が業務遂行に際して知り得た業務内容及び個人情報等を第三者に漏らし、複製し、目的外に利用し、又は持ち出しすること等がないよう、派遣労働者に対し守秘義務を遵守させるために必要な措置を講じること。なお、本守秘義務は派遣期間終了後においても存続させること。

(2) 情報セキュリティに係る研修等の受講

派遣労働者には、本学園において業務を遂行するに当たり、本学園からの求めに応じて、情報セキュリティに係る本学園主催の研修等を受講させること。

12 業務推進体制

(1) 営業担当者の設置

本業務を円滑に実施するため、連絡窓口となる営業担当者を設置して、必要となる作業に当たること。

(2) 出退勤管理

派遣労働者の出退勤については、勤怠管理システムなどにより適切に管理すること。

(3) 営業担当者と派遣労働者の面談

営業担当者は、定期又は随時に派遣労働者と面談を行い、当該派遣労働者の業務状況及び心身の健康状態等を把握すること。また、必要に応じて、本学園と協議することで、本派遣業務を円滑かつ適切に実施すること。

13 二重派遣の禁止

本件業務の全部又は一部に雇用関係の無い労働者を派遣してはならない。

14 留意事項

- (1) 派遣労働者の業務は、本学園の指示に基づいて行うものとし、必要に応じて適宜、打合せを行い、業務の調整を行うものとする。
- (2) その他、本仕様書の記載で定まらない事項については、本学園と派遣元事業者が協議して決定するものとする。